

仕様書

1. 件名

2025年日本国際博覧会会場で使用するカーボンニュートラルガス調達業務（単価契約）

2. 供給期間

2024年9月1日から2025年12月31日まで（16ヶ月）

3. 需要場所

2025年日本国際博覧会会場

- （1）供給処理施設北西
 - （2）供給処理施設北東
 - （3）供給処理施設南東（CGS含む）
 - （4）迎賓館
- （これらの施設はまとめて1需要場所とする）

4. ガスの概要

- （1）ガスの種類 都市ガス13A
- （2）供給熱量 $45\text{MJ}/\text{m}^3\text{N}$
- （3）引込供給圧力 中圧A2カ所
- （4）対象メーター 中圧A：125能力 2個、200能力 1個
低 圧： 40能力 1個

5. カーボンオフセット

供給するガスについては、以下のいずれか、もしくは組み合わせにてカーボンオフセットすること。

- （1）J-クレジット
- （2）JCM（二国間クレジット制度）
- （3）e-methane（合成メタン）
- （4）バイオメタン

（1）（2）については、ガスの製造から燃焼までに排出される温室効果ガス排出量をオフセットすることとする。なお、（3）（4）については、これらが有する環境価値を、証書等を用いて万博会場に移転し、供給するガスと組み合わせてカーボンニュートラルガスとすることも可とする。

また、温室効果ガス排出量及びオフセットに要したカーボンクレジットについては別紙にて報告すること。

6. 使用条件

(1) 契約最大使用量

需要場所での使用可能量は以下の通り

(内訳) 中圧A (北西) 4 3 2. 8 m³N/h (機器の定格能力)

中圧A (北東) 3 0 8. 1 m³N/h (機器の定格能力)

中圧A (南東) 4 8 9. 6 m³N/h (機器の定格能力)

低 圧 (南東) 4 0 能力 (ガスメーター能力)

※低圧メーター分のみ、ガスメーター能力とする。

なお、契約最大使用量とは、契約で定める供給期間を通じて1時間当たりの最大ガス使用量をいう。また、負荷計測器は設置しない。

(2) 予定契約期間使用量：1, 2 8 9, 3 8 0 m³

(予定契約期間使用量とは、契約期間(16か月)の契約予定月別使用量の合計量をいう)

(3) 予定契約期間引取量：9 0 2, 5 6 6 m³

(予定契約期間引取量とは、契約で定める発注者が契約期間(16か月)において最低引き取らなければならないガス量をいう。

なお、受注者が定める「供給条件又は約款等」(以下「供給条件等という。」)において、契約期間が1年間として予定年間引取量が設定されている場合は、以下の通り扱うことを可とする。「令和6年9月分ガス使用量から令和7年8月分ガス使用量まで」(以下「前期間」という)と「令和7年1月分ガス使用量から令和7年12月分ガス使用量まで」(以下「後期間」という)のそれぞれの1年間に対して供給条件を適用して予定年間引取量を設定し、前期間を7 0 6, 0 2 0 m³、後期間を8 6 8, 9 6 6 m³とする。)

(4) 契約最大需要期使用量：6 8, 8 8 0 m³

(契約最大需要期使用量とは、契約期間(16か月)の12月定例検針日の翌日から4月定例検針日までの期間における合計ガス使用量という。

なお、受注者が定める供給条件等において、契約期間が1年間として契約最大需要期使用量が設定されている場合は以下の通り扱うことを可とする。前期間と後期間のそれぞれの1年間に対して供給条件を適用し、契約最大需要期使用量を設定し、前期間を4 8, 0 0 0 m³とし、後期間を5 6, 8 8 0 m³とする。

(5) 予定月別使用量は、「別紙」による。

7. 供給条件

本件の仕様書における供給条件は、入札時において受注者が定めているものとする。なお、記載事項について同様の項目がある場合は、本契約における仕様書及び契約書を優先する。

8. 原料費の調整

- (1) 落札決定後、原料費が変動した場合に限り、受注者は、受注者の定める供給条件に基づき、原料費の調整を行うことができるものとする。
- (2) 原料費の調整を行う場合は、その根拠となる受注者の定める供給条件を基にした原料費算出資料を発注者に提出し承認を受けるものとする。
なお、入札時原料価格は、2023年1月から2023年12月までの財務省貿易統計における公表値の平均原料価格（LNG（円/t）、及びLPG（円/t））を用いて算出するものとする。

9. 託送料金の算定

- (1) 託送料金は、一般ガス導管事業者の託送供給約款に基づき算定するものとする。
- (2) 託送料金の算定方法の見直しは、一般ガス導管事業者の託送供給約款が変更された場合に限り行うことができるものとする。

10. 料金の算定

料金の算定は、契約期間の使用量に基づき、次の計算方法で行う。

ガス料金＝

（契約単価（託送料金を含む）＋原料費調整額）×検針で計量した使用量

契約単価：契約書記載単価（カーボンオフセット費用を含む）

検針で計量した使用量：1ヶ月（前月の計量から当月の計量までの期間をいう）の使用量

原料費調整額：8.原料費の調整に基づき算出

11. 予定契約期間引取量の未達

実績契約期間使用量が予定契約期間引取量に満たない場合は、受注者は、受注者の定める供給条件に基づき、精算額を請求することができる。

12. 契約最大需要期使用量の超過

契約最大需要期使用量が設定される場合、最大需要期における実績使用量が契約最大需要期使用量を超過したとき、受注者は、受注者の定める供給条

件に基づき、精算額を請求することができる。

1 3．支払方法

支払方法は銀行口座振り込みとする。

1 4．保安

- (1) 受注者はガス事業法の定めるところにより、ガス消費機器について保安責任を負うものとする。
- (2) 保安責任分界点は、ガス工作物の末端のバルブとする。